

VII F 荷物用エレベータ

Ⅶ-1 計画編（一方向出入口）

1-1 エレベータの仕様

- 荷物用エレベータは荷物の運搬を目的としたエレベータであり、荷扱者以外は荷物用エレベータを利用することが出来ません。
- 荷物用エレベータには、積載750kg~2500kgまでを取り揃えております。
荷物の大きさ、重さに応じて選定してください。
- エレベータの故障防止のため、次の注意事項を厳守くださるよう、お願いいたします。
 - ・ この荷物用エレベータは、フォークリフトの乗り込みに対応していません。※1
荷物の積み込みは、4輪手押し台車などをご使用ください。
 - ・ 一度に重い荷物を積み込むと、床が変形する恐れがあります。
荷物は、台車などの重量を含み積載の1/4以下に分けて積み込んでください。
- 積載の1/4より重い荷物を運搬する場合は、床の構造を強化することにより、台車などの重量を含み積載の80%（最大1000kg）まで対応可能です。※2
詳しくは当社にご相談ください。

※1：フォークリフトの乗り込みが必要な場合は、機械室ありエレベータ適用となりますので当社にご相談ください。

※2：かご床強度増（有償付加仕様）適用の場合を示します。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

- BIMダウンロード
- CADダウンロード

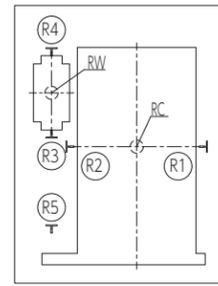
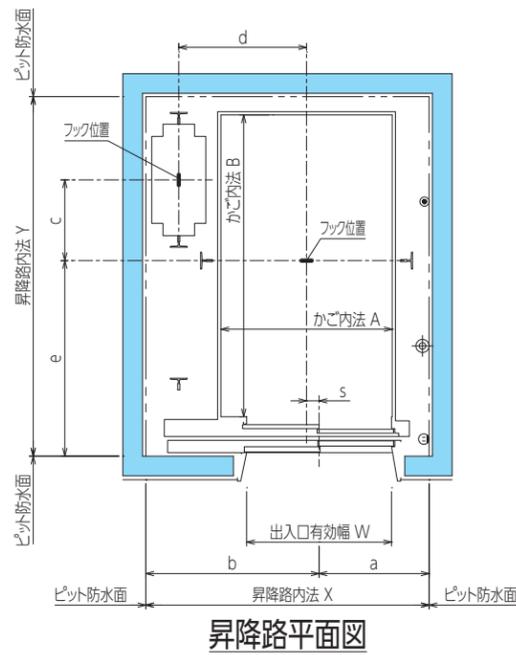
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は <https://www.fujitec.co.jp/sales/>

1-2基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量 積載 (kg)	電動機容量 (kW)
1	F-750-2S-45	45	750	3.5
2	F-750-2S-60	60		4.6
3	F-1000-2S-45	45	1000	4.6
4	F-1000-2S-60	60		6.2
5	F-1500-2S-45	45	1500	6.9
6	F-1500-2S-60	60		9.2
7	F-2000-2S-45	45	2000	9.2
8	F-2000-2S-60	60		13.0
9	F-2500-2S-45	45	2500	12.0
10	F-2500-2S-60	60		16.0

1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例



レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かが	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2
柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

ピット荷重分布図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NITモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	NITモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 4000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4000mm	(電気工事)
⊖ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かが内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH	ピット深さ P	a	b	c	d	e	s
				昇降行程 30m以下							
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2150×2740	3300	1250	835	1315	615	970	1490	95
F-750-2S-60											
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2550×2740								
F-1000-2S-60											
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×2890								
F-1500-2S-60											
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3190								
F-2000-2S-60											
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3300×3390								
F-2500-2S-60											

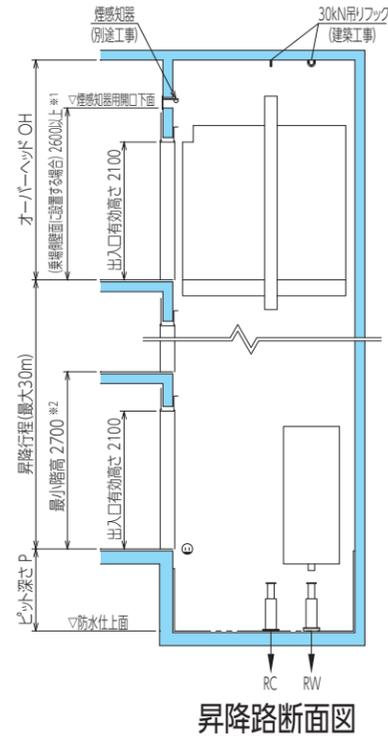
- [注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
 ②昇降路内法はピット防水仕後の有効寸法です。
 また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑨かがの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 ⑩昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。
 ⑪かが床強度増の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC(かが側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	40	36	36	36	16	107	101	10.1	7.4	8.9	4.7	1.7	1.7
F-750-2S-60						132	128						
F-1000-2S-45	45	39	40	40	27	127	118	11.5	8.7	10.3	5.4	1.7	1.7
F-1000-2S-60						157	149						
F-1500-2S-45	53	43	46	46	31	162	146	13.6	10.8	12.4	6.5	1.7	1.7
F-1500-2S-60						201	184						
F-2000-2S-45	60	48	50	50	33	189	164	15.1	12.4	13.9	7.2	1.7	1.7
F-2000-2S-60						234	207						
F-2500-2S-45	69	64	64	49	28	213	184	16.7	12.5	16.7	8.8	1.7	1.7
F-2500-2S-60						263	232						

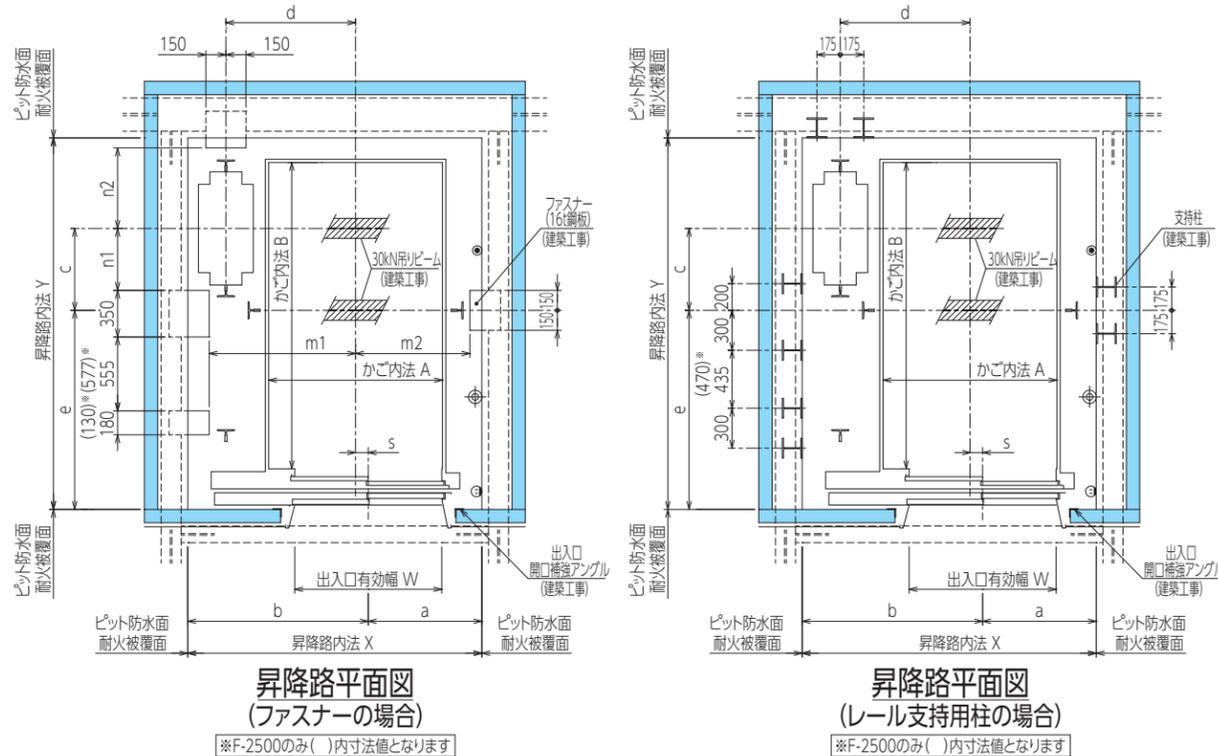
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかが重量増加により、上表の値を超える場合があります。



昇降路断面図

- ※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
 ※2. かが床強度増の場合は、当社にご相談ください。

1-4 昇降路がS造の場合の寸法例



標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH		ビット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s
				昇降行程	30m以下											
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2790	3300	1250		850	1350	615	970	1495	1095	855	465	565	95
F-750-2S-60																
F-1000-2S-45																
F-1000-2S-60																
F-1500-2S-45																
F-1500-2S-60																
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3150×3240													
F-2000-2S-60																
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3350×3440													
F-2500-2S-60																

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
 ②昇降路内法はビット防水仕上の有効寸法です。
 また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム (建築工事) が必要となります。
 ④最大ビット寸法は2000mmです。
 最大ビット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ビット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針 (2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上 (仕上げ含まず) にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21 N/mm² (Fc21) 以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 ⑩かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位: kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	40	36	36	36	16	107	101	10.1	7.4	8.9	4.7	1.7	1.7
F-750-2S-60						132	128						
F-1000-2S-45	45	39	40	40	27	127	118	11.5	8.7	10.3	5.4	1.7	1.7
F-1000-2S-60						157	149						
F-1500-2S-45	53	43	46	46	31	162	146	13.6	10.8	12.4	6.5	1.7	1.7
F-1500-2S-60						201	184						
F-2000-2S-45	60	48	50	50	33	189	164	15.1	12.4	13.9	7.2	1.7	1.7
F-2000-2S-60						234	207						
F-2500-2S-45	69	64	64	49	28	213	184	16.7	12.5	16.7	8.8	1.7	1.7
F-2500-2S-60						263	232						

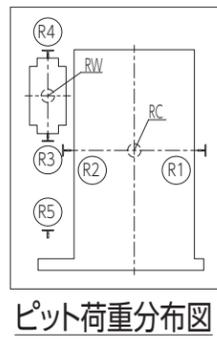
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程	30m以下
F-750-2S-45	3200以下	2935~3020	
F-750-2S-60			
F-1000-2S-45			
F-1000-2S-60			
F-1500-2S-45			
F-1500-2S-60			
F-2000-2S-45			
F-2000-2S-60			
F-2500-2S-45			
F-2500-2S-60			

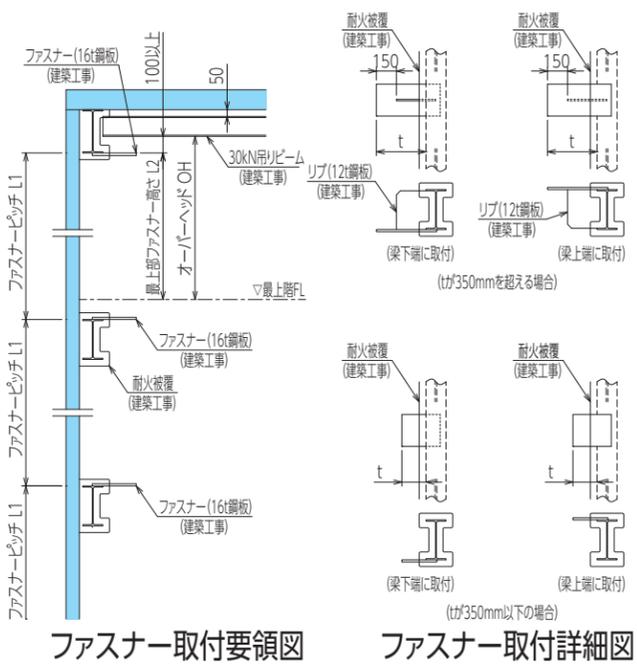
[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。



レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2
柱	PH1	PH2

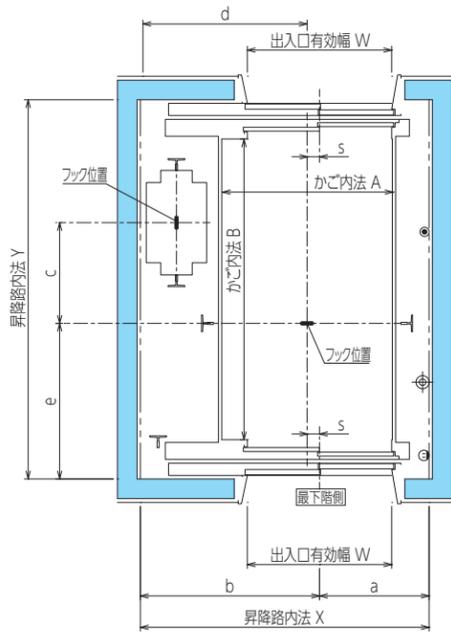
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



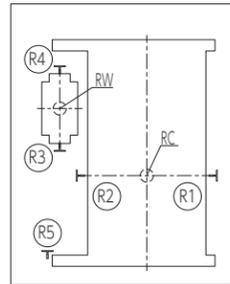
F 荷物用

Ⅶ-2 計画編 (二方向出入口)

2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



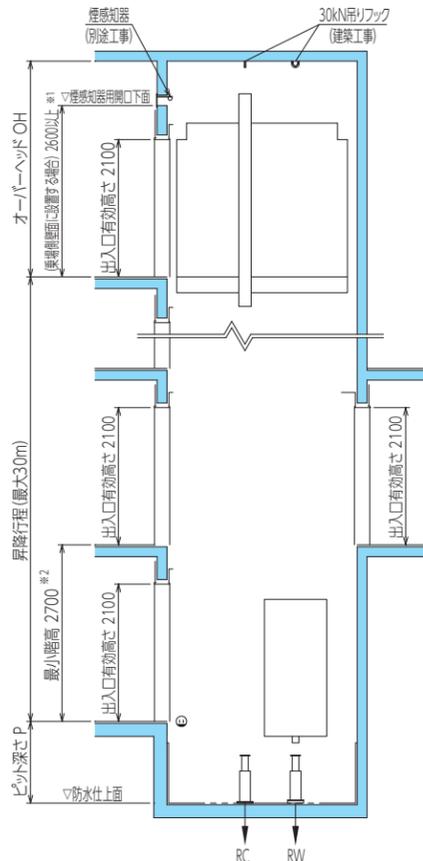
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	● NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm	(別途工事)
◎ 電源引込み位置 引込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 4000mm	◎ 電源引込み位置 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4000mm	(電気工事)
○ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	○ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
※2. かが床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かが内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注③		a	b	c	d	e	s
					標準	特殊						
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2900	3300	標準	特殊	835	1365	770	995	1190	95
F-750-2S-60												
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2600×2900	3300	標準	特殊	935	1665	770	1195	1190	195
F-1000-2S-60												
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×3000	3300	標準	特殊	1135	1965	770	1445	1240	245
F-1500-2S-60												
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3400	3300	標準	特殊	1135	1965	795	1445	1440	245
F-2000-2S-60												
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3330×3600	3300	標準	特殊	1185	2145	870	1545	1660	295
F-2500-2S-60												

- [注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
⑤最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
⑥ピット下部は原則として使用できません。
⑦昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・イン
ターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジ
ケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げ含まず)にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設
置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、
昇降路内法が大きくなる場合があります。

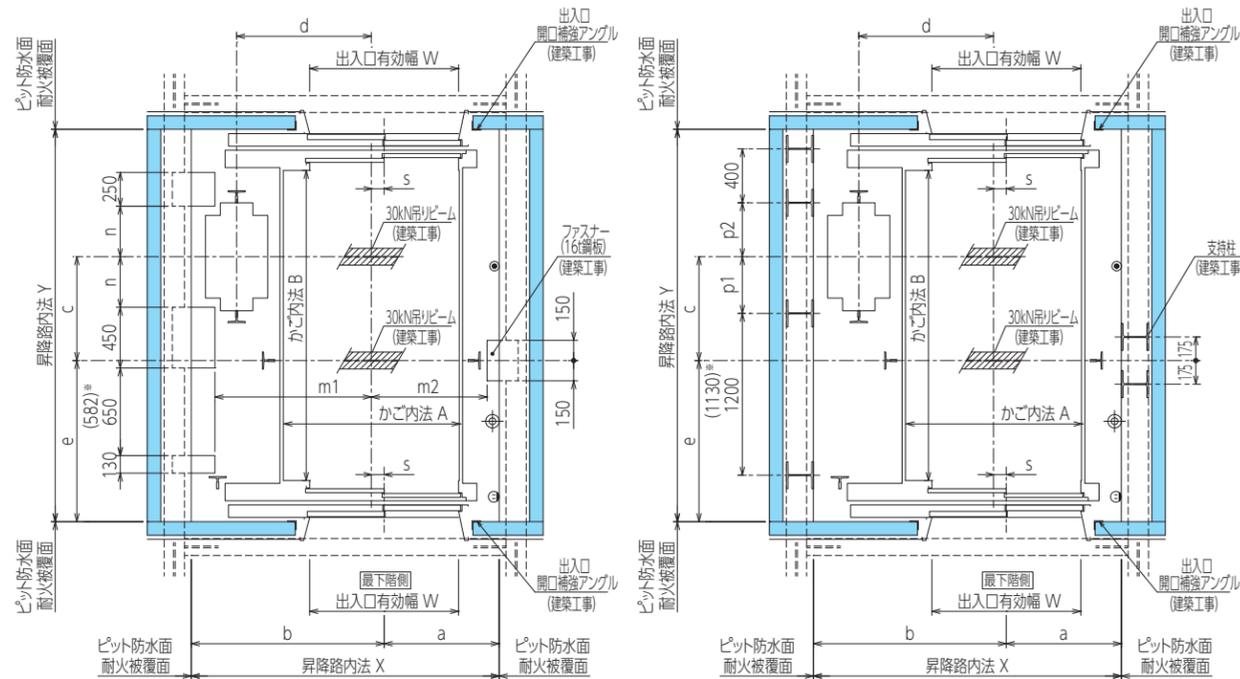
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	42	37	38	38	26	114	109	10.8	7.6	9.5	5.0	1.7	1.7
F-750-2S-60						141	138						
F-1000-2S-45	47	41	42	42	28	134	126	12.1	8.5	10.9	5.7	1.7	1.7
F-1000-2S-60						166	159						
F-1500-2S-45	55	45	48	48	32	169	154	14.3	10.2	13.1	6.8	1.7	1.7
F-1500-2S-60						210	194						
F-2000-2S-45	62	49	52	52	34	167	172	15.8	11.4	14.5	7.5	1.7	1.7
F-2000-2S-60						243	217						
F-2500-2S-45	70	60	106	49	20	215	186	18.0	12.6	17.0	9.1	1.7	1.7
F-2500-2S-60						266	235						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2-2 昇降路がS造の場合の寸法例

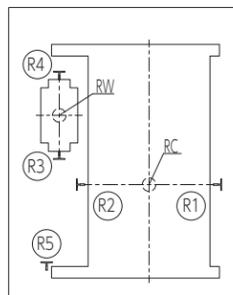


昇降路平面図
(ファスナーの場合)

※F-2500のみ()内寸法値となります

昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)

※F-2500のみ()内寸法値となります



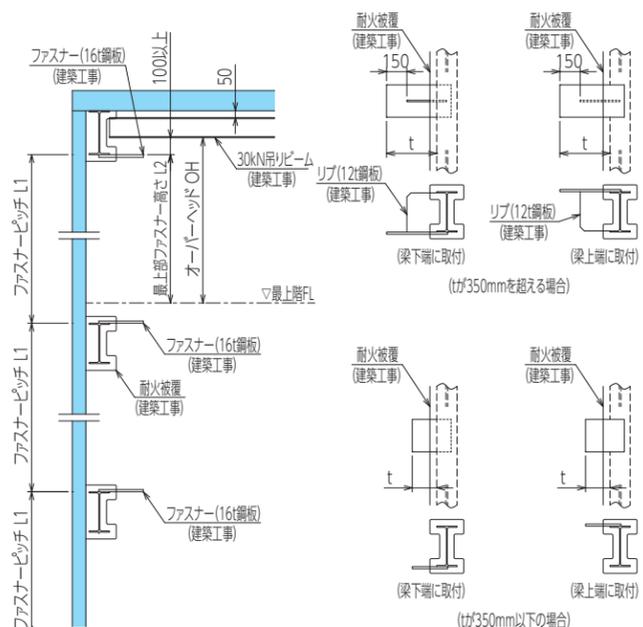
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
	かご	PC1 PC2
Px	おもり	PW1 PW2
	柱	PH1 PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 4000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4000mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH		ピット深さ P 注③		a	b	c	d	e	m1	m2	n	p1	p2	s		
				昇降行程 30m以下	標準	特殊														
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2275×2910	3300	1250	1650	850	1425	770	995	1195	1155	855	375	420	400	95			
F-750-2S-60																				
F-1000-2S-45																				
F-1000-2S-60	1700×2300	1400	2675×2910																	
F-1500-2S-45																		2200×2400	1700	3175×3010
F-1500-2S-60																				
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3175×3410																	
F-2000-2S-60																				
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3380×3610																	
F-2500-2S-60																				

- [注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
 ②昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。
 また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
 開閉機器点検口を設けられない場合
 ④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ⑤最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑥ピット下部は原則として使用できません。
 ⑦昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
- ⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
 適用ありの場合は下記寸法となります。
 ・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げ含まず)にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご側に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	42	37	38	38	26	114	109	10.8	7.6	9.5	5.0	1.7	1.7
141						138							
F-1000-2S-45	47	41	42	42	28	134	126	12.1	8.5	10.9	5.7	1.7	1.7
166						159							
F-1500-2S-45	55	45	48	48	32	169	154	14.3	10.2	13.1	6.8	1.7	1.7
210						194							
F-2000-2S-45	62	49	52	52	34	197	172	15.8	11.4	14.5	7.5	1.7	1.7
243						217							
F-2500-2S-45	70	60	106	49	20	215	186	18.0	12.6	17.0	9.1	1.7	1.7
266						235							

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程	30m以下
F-750-2S-45	3200以下	2935~3020	
F-750-2S-60			
F-1000-2S-45			
F-1000-2S-60			
F-1500-2S-45			
F-1500-2S-60			
F-2000-2S-45			
F-2000-2S-60			
F-2500-2S-45			
F-2500-2S-60			

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。